

莫を大に考へらるる一白を早く覚醒せうれをと思ふ  
 此種は次期に於てから萬一今回ストライキに際しては  
 其のしと水は勿論職工各自の苦痛は一層甚しきこと  
 には有らまいかストライキに依り各自の権利利益を保護  
 するのには資本家が甚しき厭上制をするとか利益を獨享  
 するとか苦悶の眼に見る不都合と思はれる場合を作らば  
 いかん知らず今日會社のやうな方針に於てストライキを旨と  
 するのには吾等の同情を得ることにはむづかしからしと思はれ  
 る若し此際打掛りて勤し作業に支障を起さしむる  
 様の事かざれば會社は會社の信する處より遂行し職  
 工中及尚せぬ者が或水は其結果多量の失業者を生  
 ずることとなりし本人は兎も南妻子女層族かどれ程の  
 苦痛を感ずることであらうか

多く人會社の本旨を考へて在自分の立場を考へし  
 決して他人の放緩煽動やむに乘らず自分の將來と  
 一策の安全とを謀る様注意せられんことを切望す  
 りらるる

大正十年三月二十六日 日本鑛鋼株式會社

之水日會社としておはなれ共濟會より別に本人に  
 附し銀別金や日金を贈ることになり居ることを附記す